

〔国際会議開催〕

申 請 者	兵庫県立大学大学院シミュレーション学研究科 教授 畑 豊	2185010
国際会議名称	2018 年 IEEE システム・マン・サイバネティクス国際会議（IEEE SMC2018）	
開 催 期 間	2018 年 10 月 7 日～10 月 10 日	
開 催 場 所	シーガイアコンベンションセンター（宮崎県宮崎市）	
申請者の役割	実行委員長	

概 要：

本会議は米国電気電子学会（IEEE）が毎年開催する国際会議であり、我が国及び世界のヒトを考慮したシステムとサイバネティクス分野の発展に寄与し、人とコンピュータシステムにおける最適な関係に光をあて、人類における情報技術の恩恵とは何かについて議論し、それに関する情報技術を促進することを目的としている。本年の会議は、日本学術会議との共催で、社会要請の高いビッグデータ解析、サイバー空間、人工知能研究の中核を成し、最新のサイバーワールドと人との最適な係り合い、すなわち、どのようにして「人間と機械の調和を促進するか」に関し、内外から 900 名近い研究者らにより議論を行った。

近年はこの分野の進展が目覚ましく、特に BMI（Brain Machine Interface）、医工学、ロボティクスの研究が著しい発展を遂げている。日本は、特にロボティクス、医工学、人工知能に対して多大な貢献をしており、SMC Society における日本人の貢献は米国人に引けを取らず、今後の進展について全世界から大きく期待されている。

本会議では「The Making of a Human-Centered Cyber World（人間中心の情報社会の構築）」をメインテーマに、ICT、AI、IoT、ビッグデータ解析、医工学、ロボティクスを主要題目として研究発表と討論が行われ、その成果は、人間と機械の最適な調和を図り、今後の情報社会の進展の方向性を決定づけると同時に、人のための技術の発展に大きく資するものと期待される。本国際会議を日本で開催することにより、我が国がこの分野の研究をリードしていることを全世界の研究者に大きくアピールし、多くの研究者の参画を促すと共に、我が国の将来の堅実な発展を目的とし、人を中心とした科学技術研究の必要性和その方向性を決定する機会となった。